2024年度 自己点検・自己評価

学校法人未来学園 大阪総合福祉専門学校 日本語教育課程

評価 5：達成 4：ほぼ達成している 3：どちらともいえない 2：取り組み検討中 1：改善が必要

【1】教育の理念・目標

番号	評価項目	評価
1-1	学校の理念、目的・目標が明確となっているか	5
1-2	学校の育成する人材像が明確となっているか	5
1-3	学校の理念、目的・目標が社会のニーズに合致しているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

(1-1～1-3)

ITの発展や交通の利便性の向上により、世界的に国際化が進展し、それに伴い日本の専修学校、大学、大学院への留学生も増加している。留学生が日本で学ぶためには、日本語の理解が不可欠である。本校では、専修学校・大学・大学院への進学を希望する留学生が、日常生活のみならず、研究や学習に必要な日本語力を身につけられるよう、実践的なカリキュラムを導入している。また、進学を積極的に支援し、将来的に日本社会に貢献できる人材の育成を目指している。

日本語教育を通じて、留学生が国際的な視野を持ち、日本と母国の架け橋となること、さらには日本の発展や社会貢献につながることを目的としている。

本校日本語学科の学生の多くは介護福祉学科への進学を希望し、介護福祉士の国家資格を取得した後、日本で介護福祉士として従事することを目標としている。そのため、本校では、日本語による円滑なコミュニケーション能力を備え、日本の文化や習慣を深く理解し、適応できる人材の育成に努めている。

これらの理念・目標および育成する人材像については、教職員をはじめとする関係者に広く周知されている。

【2】学校運営

番号	評価項目	評価
2-1	学校の運営体制が日本語教育機関の告示基準を満たしているか	5
2-2	学校の理念や目的に沿った運営方針や事業計画が策定されているか	5
2-3	学校の組織運営や人事、財務管理に関する規定や意志決定システム、コンプライアンス体制が整備されているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

(2-1～2-3)

日本語教育機関の告示基準に沿った運営体制を整備し、本校の理念および目的に基づいた運営方針ならびに事業を策定している。

また、各種事案については、事務局会議および教務会議を経て責任者会議にて最終決定を行うシステムを採用しており、効率的に機能している。

さらに、教職員のコンプライアンス意識を高めるための取り組みを毎年実施しており、今後も組織として一層の強化を図る方針である。

【3】教育活動

番号	評価項目	評価
3-1	教育理念等に沿った教育課程が体系的に編成されているか	5
3-2	成績評価や進級、修了の判定基準は明確となっているか	5
3-3	教育課程や成績評価、進級、修了の判定基準は適切に運用されているか	5
3-4	教員の指導力向上のための取り組みは行われているか	4
3-5	教育課程の改善のための取り組みが行われているか	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

(3-1～3-5)

学生の成績評価および進級・修了については、学期ごとに実施される成績判定会議において判定している。

教務主任は、各教員の授業内容を定期的に確認し、改善が必要な場合には個別指導を行っている。また、教員の指導力向上を目的とした研修会も実施している。

今後も、教員間における情報共有および指導技術の共有を徹底し、学生がより良い教育を受けられる環境の整備に努めていく方針である。

【4】学修成果

番号	評価項目	評価
4-1	学生の日本語能力の向上が図られているか	4
4-2	学生の日本語能力について適切に把握されているか	5
4-3	学生の進路を適切に把握しているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

(4-1～4-3)

2023年度より新カリキュラムを導入したことにより、授業時間数が増加し、学生の習熟度も向上している。

学生には日本語能力試験等の外部試験を積極的に受験するよう推奨しており、受験申込は学校が一括して取りまとめている。

日本語能力試験等の外部試験の結果を含め、入学から卒業までの各学生の学習成績は適切に記録している。また、外部試験の結果は、教育内容の改善やクラス編成の際の資料として有効に活用している。

本校日本語学科の学生の多くは、卒業後に本校介護福祉学科への進学を希望している。そのため、総合的な日本語能力の向上を図るとともに、日本語能力試験 N2 の合格を目標とし、合格率の向上を目指して模擬試験等を定期的実施していく方針である。

【5】学生支援

番号	評価項目	評価
5-1	学生に対する学習相談の支援体制が整備されているか	5
5-2	学生に対する進路の支援体制が整備されているか	5
5-3	学生の健康管理について支援体制が整備されているか	5
5-4	学生の日本での生活指導の支援体制が整備されているか	4
5-5	防災や緊急時における体制が整備されているか	3

<現状・具体的な取り組み/課題>

(5-1～5-5)

<p>学習相談・進路相談等については、担任教員および教務主任を中心に随時実施している。</p> <p>また、全学生を対象に年1回の健康診断を実施し、国民健康保険および任意の医療保険への加入を促している。学生の日々の健康状態については、教職員が登校時に毎回確認しており、病気や入院等により治療が必要な場合には、生活指導担当者が健康回復まで十分なケアを行う体制を整備している。</p> <p>さらに、全学生を対象として、避難経路および避難場所を定めた避難訓練を年1回実施している。防災について学ぶ機会を増やし、実際に災害が発生した際に、学生が自らの身を守る行動を取ることができることを目指す。</p>
--

【6】教育環境

番号	評価項目	評価
6-1	学校の施設・設備が十分かつ安全に整備されているか	5
6-2	使用する教材は適切か	5
6-3	学習効率を高めるための環境整備がなされているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

(6-1～6-3)

<p>学生が学習に集中できるよう、教室内の環境には十分に配慮している。</p> <p>また、学校内におけるIT教育用機器は十分に整備されており、コロナ禍での経験を踏まえ、いつでもオンライン授業に対応できるよう教材や資料の準備も整えている。</p>

【7】入学者の募集

番号	評価項目	評価
7-1	入学者の募集は適切に行われているか	5
7-2	入学者募集の際に学校の情報は正確に伝えられているか	5
7-3	授業料等は適切か	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

(7-1～7-3)

<p>送出し機関を通じて、入学希望者が理解できる言語により、本校に関する情報を正確に伝えている。</p> <p>また、入学希望者に対しては、書類選考および面接試験等により日本語能力の確認を行うとともに、学習意欲や学習目標、経費支弁状況等を総合的に確認した上で、受け入れの可否を決定している。</p>

【8】財務

番号	評価項目	評価
8-1	中長期的な財務基盤は安定しているか	5
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものか	4
8-3	財務について会計監査は適切に行われているか	5
8-4	財務情報の公開の体制はできているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

(8-1～8-4)

財務状況は、学校法人として管理されており、中長期的に安定した経営が行われている。また適切な会計監査が実施されている。

【9】法令遵守

番号	評価項目	評価
9-1	出入国管理及び難民認定法及び各種関係法令等の遵守が行われているか	5
9-2	出入国管理及び難民認定法及び各種関係法令等に基づいて適切に運営できているか	5
9-3	個人情報の保護について適切に取り組みがなされているか	5
9-4	自己点検の実施と改善及びその公開を適切に行っているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

(9-1～9-4)

各法令を遵守し、適正な運営に努めており、日本語教育機関として「適正校（クラスⅠ）」の認定を受けている。

学生および教職員の個人情報については、適切に管理を行っており、今後も継続して取り組んでいく方針である。

自己点検・自己評価は年1回実施し、評価の低い項目については課題を洗い出し、改善策を定めた上で改善に努めている。

また、自己点検・自己評価の結果は、毎年ホームページ上で公開している。

【10】地域貢献・社会貢献

番号	評価項目	評価
10-1	日本語教育機関の資源や施設を利用して社会貢献・地域貢献を行っているか	2
10-2	学生のボランティア活動への支援、公開講座等の実施などを行っているか	2

<現状・具体的な取り組み/課題>

(10-1～10-2)

社会貢献・地域貢献については、現時点では十分に実施できていないが、今後はボランティア活動への参加等を通じて、貢献の機会を積極的に創出していく方針である。